



1面 目次／第32回取手市総合防災訓練に外国出身者初参加 2面 神が宿る国ネパールのあれこれ（その3） 3面 ユーバ市姉妹都市交流派遣団に参加して／東京藝術大学国際交流会館地域交流会に参加して／Lady TIFA Christmas Party へのお誘い 4面 日本語教室 Now 戸頭日曜教室の紹介／TIFA活動展のお知らせ／新会員紹介

## 第32回 取手市総合防災訓練に 外国出身者初参加

10月5日（土）藤代スポーツセンターグラウンドにおいて防災訓練が行われました。取手市から市内在住の外国出身者にも参加を呼び掛けて欲しいと要請があり、TIFAとして初めて市内在住の外国出身者に参加を呼びかけることにしました。

訓練会場がやや交通不便で早朝から開始という事もありましたが、ペルー、ネパール、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、インドの6か国から14名と日本人会員10名以上の方の参加をいただきました。「10月5日午前7時、茨城県南部を震源とする直下型地震が発生し、家屋・道路の損壊、電気、電話、ガス、水道などライフラインにも大きな被害が出た」と言う想定のもと取手市、消防本部、国土交通省（河川事務所）、陸上自衛隊、警察署、茨城県防災航空隊他多数の関連団体、企業が参加したこの種の訓練としてはとても大規模なものだと思います。

幸いにも午前7時の開始時点では前日からの強風を伴った雨模様も上がりました。ヘリコプターによる人命救助訓練を間近に見学したり、消火用のバケツリレー、浸水を防ぐ土嚢づくり、煙中避難訓練、暴風雨体験などを実際に経験し、初めて参加した人、特に外国出身者にとっては興味深く有意義な一日になりました。

日本に来て日が浅い人からは地震が起きた時などどうしたら良いかわからず不安でしたが参考になりました。来年も参加したいという声が聞こえました。今回はTIFAとして初めての参加という事もあり、限られた人にしかお声掛けできませんでしたが、来年はもっと多くの方が参加できるように取り組みたいと思っています。雨は降らなかつたものの真冬並みの寒さの中、参加者にとっては炊き出しで配られた豚汁が熱くて美味しく大好評でした。



（バケツリレー）



（集合写真）

（交流部会 土井照夫）



## 神が宿る国ネパールのあれこれ（その3）



私の勤務先はネパール政府の協同組合・貧困緩和省でした。ネパールは東南アジアで最も貧しい国のひとつです。鉱物などの資源がなく電力事情の悪いネパールでは工業がまったく育たず農業と観光収入、それに海外への出稼ぎによる仕送りによって国民は生活しています。政府は協同組合を強化することによって国民の貧困を解消しようとしています。特に農業分野では農業協同組合の人材育成、営農対策、販売購買事業に力を入れています。私は日本の事例を示しながらネパールの新しい農業協同組合システムを提案してきました。240年間王制でしたが2008年に制憲議会が召集されギャネンドラ国王が退位しました。その間長期にわたり人民戦争があり多数人民が殺害され多くの世界遺産の建物が破壊され国内が荒廃しました。その後4回の制憲議会が開催されましたが憲法が出来ず今年の5月に議会は解散され今年の11月に総選挙が行われる予定です。ネパールの民主化が始まった1992年に国の重要施策の一つとして協同組合による生活向上対策が上げられこの年に「協同組合法」が作られました。この法律では25人以上で協同組合が設立出来るのでいろいろな業種（貯蓄、消費者、農業、酪農、健康、電気、森林など）の協同組合があります。ネパールの協同組合は現在23,301ありいろいろな課題がありますが、ここでネパールではどのようにして協同組合が出来るのかを事例で紹介します。

ファヤフラマヒラ協同組合は、ポカラ地域のタマン族がメンバーになって組織されています。ネパールは多民族国家ですがその中でもタマン族は血族の団結力が強く排他的な傾向があります。この協同組合はタマン族の女性だけで構成されおり日常的に冠婚葬祭だけでなく家の修理や田畑の手伝いなどをグループに分けて全員で作業を行っています。協同組合をつくるきっかけは2年半前に19人で貯蓄貸出を始め、理事長ほか3人が幹事役になり一人50円/月の積み立てをし毎月借りたい人に1,000円を上限に貸し出していました。その後積立金以上に借りる人が多くなったため数ヶ月待つ人が出てきたので積立金を一人100円/月に増やし現在140人のメンバーで一人2,189円の貯蓄高となっています。この仕組みは、貯蓄金利10%、貸出金利18%で無担保、返済期限は6か月で延滞金利は1%となっています。一昨年11月に優遇税制のある協同組合として立ち上げました。タマン族だけのメンバーにしたのは他民族とは文化、風習等が違うのが理由です。メンバーにはキャンドル製造、養豚、養鶏、くだものを生産している婦人達がありますが彼女らは担保が無いので銀行から融資を受けられず困っていたため協同組合が融資しています。女性が仕事の中心になっている理由は、ネパールでは夫が海外へ出稼ぎの行っている家庭が多いためです。特に地方では農業で生活できないので若者の多くが中近東、韓国等へ出稼ぎに出ています。そのため女性と子供が農業に従事しておりネパール農業の生産性は非常に低い水準にあります。また女性は家から外へ出されないという風習があり女性の自立がむずかしい生活環境にあります。現在ネパールには女性だけの協同組合が1,700以上あり女性の地位向上に向けて自ら活動しています。

（おわり）

（交流部会 小田島満哉）

## ユーバ市姉妹都市交流派遣団に参加して

広大で自由な国、アメリカ。日本の2.5倍の国土面積に対し、人口はわずか3倍。いかにスペースがあることか。この度、21名の中高生と市長や市議会議員を含む大人9名の総勢30人で、取手市と姉妹都市であるカリフォルニア州サター郡ユーバ市へ派遣団として参加しました。今年で25周年を迎えるとあって、現地の皆さんの温かく大きな意気込みを感じました。式典後、各自お世話になるホストファミリーと対面、1週間のホームステイです。時期はHalloween、本場の仮装と子供たちの笑顔が素敵でした。子供たちが学校に行っている間、大人たちは市の警察署、消防署、中学校、教育委員会などを視察し、興味深く見学しました。自然に満ち溢れ、農業を中心としたユーバ市は取手市と似ているところがあり、その紅葉の風景に懐かしさすら感じました。お店に入ると「トリデ？」と親しげに話してくる店員さんに、どれ程この姉妹都市交流が根付いているか判ります。また「TORIDECITY」という道路もありました。子供たちは初めは緊張して話せなくても少しずつ打ち解け、「日本に帰りたくない、このままユーバ市に居たい」と言っていたのが印象的です。来年は取手市がユーバ市の皆さんをお迎えして25周年を祝う番です。日本人らしい「おもてなし」をしたいです。



(日本語部会 坪井 紀子)

## 東京藝術大学国際交流会館地域交流会に参加して

10月30日(水)松戸にある交流会館の入居者及び大学教職員と地域の方々との交流会が行われました。地元町内会、松戸、白井、取手の交流協会もお招きいただき楽しい交流となりました。後半はミニコンサートで留学生や日本人学生による素晴らしい演奏に酔いしれました。渡邊健二教授の左手だけによるピアノ演奏は圧巻、今左手だけのピアノ演奏会が注目されていますが、とても片手だけの演奏とは思えない音の広がりがありました。



(交流部会 大日向美由紀)

### Lady TIFA Christmas Party へのお誘い

持ち寄りパーティーを企画しました。お昼ご飯を食べながらおしゃべりをしたり、ゲーム、ダンスなどで楽しい時間を過ごしませんか？お待ちしております。男性の参加も歓迎いたします。

日時：12月27日(金) 13:00~15:00 場所：井野公民館

会費：200円(飲み物代、但し12歳以下は無料) 持参するもの：一品料理かお菓子など

問合せ：大日向 (090-4964-6088)

# 日本語教室 NOW 戸頭日曜教室の紹介

本年6月より新たに開講した戸頭日曜教室です。戸頭地区には外国出身就労者・研修生等が多数在住しており、日曜日しか日本語教室の受講が出来ないと言う人びとの要望に応えることを主目的に発足しました。

日本語ボランティア4名、学習者5名での出発でした。当初は新規学習者が集まらない状況が続きましたが、学習者の口コミ等により、学習者は現在16名までに増えました。現在5名の日本語ボランティアは、学習者の要望に応えるため授業に工夫を凝らし、文字・熟語ドリル学習、レベル別複式学級方式等を採用しながら複数の学習者を担当しています。

ブラジル出身学習者8名の内、2名の中1・小6の学習者は、ドリル学習による漢字習得に懸命です。また、小学校の連絡文書を持参した「小学生を持つ学習者」より、内容確認の相談を受けることもあり、ボランティアは出来る限りのアドバイスをしています。多文化共生の小さな一場面ではないでしょうか。

日本語ボランティア増員は喫緊の問題ですが、現在開講中の日本語ボランティア養成講座（TIFA・茨城県国際交流協会共催、1月終了）卒業生の参画を心待ちにしているところです。

（日本語教室部会 三上栄治）



## TIFA 活動展のお知らせ

取手市民の皆様へ TIFA の活動を紹介するため、取手駅ギャラリーロード・藤代駅ギャラリーで TIFA 活動展を開催します。

**\* 取手駅ギャラリーロード**

開催期間 2014年1月29日（水）～2月4日（火）

**\* 藤代駅ギャラリー**

開催期間 2014年2月5日（水）～2月12日（火）

なお、展示パネル作成日を下記のように設定しましたので、各部会パネル作成担当の皆様おいで下さい。広報部会で写真プリントのお手伝いします。

日時 2014年1月24日（金）、25日（土）午後1時～5時まで

場所 福祉交流センター コミュニティールーム

### 新会員紹介（敬称略）

川辺 久美	川崎 佳子	桜田 早苗	ジャンカ・バハドル・カドーカ
ノン・ミン・ツ	五十嵐 賢次	柿本 譲	チャン・ウアン・クオン
チュトリ・リタ	天野 晃隆	中山 由香里	グエン・ドゥック・トイ
梅田シエイザ	弥陀 始美	今本 麻衣子	ウ・スン・ルック
梅田サムエル・ケンジ	前田 琢甫	佐賀 素都佳	
梅田ガブリエル・コウジ	張 曉萍	松本 順子	
コスタ・ハッタ・レジーナ	ワン・ジン	松本 幸恵	

連絡先：取手市国際交流協会事務局 取手市役所秘書課内

TEL:0297-74-2141 内線 1112

FAX:0297-73-5995

E-Mail:hisho@city.toride.ibaraki.jp ホームページ:http://www.tifa-japan.com